

大型トラックの フロント・けん引フック



大型トラック・バスには、車両の前後に「けん引用フック」を備えています。*1

「フロント・けん引フック」は、フロント・バンパーの内側など、カバーで覆われ、通常の状態では見えない場合があります。*2

「フロント・けん引フック」を使う時には、下図に例示するように カバー類などを取外して使用してください。

なお、「けん引フック」を使用してけん引する際には、「取扱説明書」の指示に従って行ってください。不適切な使用は、思わぬ事故を招きます。

「フロント・けん引フック」の使用が終わったら、必ず、再度カバーをしっかりと取付けてください。

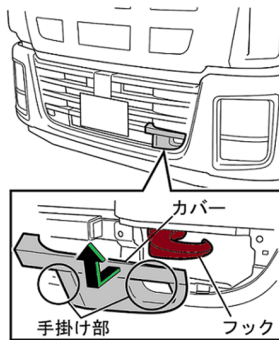
※溝やぬかるみなどに車両がはまり込んで(スタックして)いる場合など、大きな力がかかるけん引が必要な時は、使用しないでください。このような場合のけん引には危険が伴いますので、専門のレッカー業者に依頼することをお勧めします。

*1: 一部の車両はけん引フックが装着されていない場合があります。詳しくはお近くの販売会社にお問い合わせください。

*2: 大型トラック・バスの一部では、車両の空気抵抗低減による燃費向上などの観点から、カバーで覆っています。

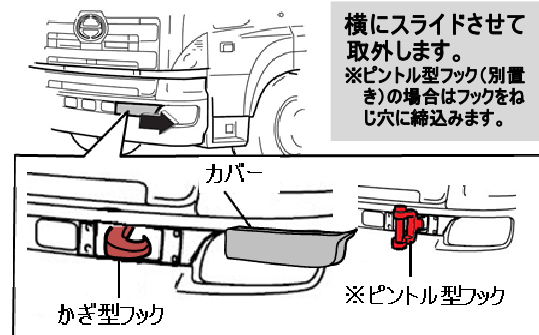
フロント・けん引フック カバーの取外し

いすゞ・ギガ



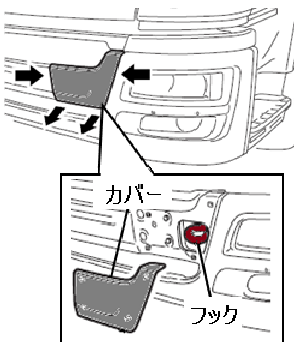
手掛け部を手前に引き上げて取外します。
※スクリューを外すタイプもあります。

日野・プロフィア



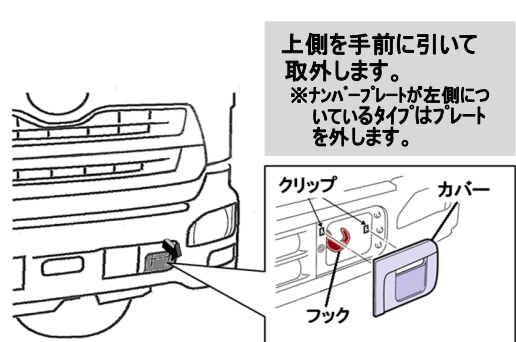
横にスライドさせて取外します。
※ピントル型フック(別置き)の場合はフックをねじ穴に締めます。

三菱ふそう・スーパーグレート



下側を手前に引いて外し、両側に指を入れて取外します。

UD・クオン



上側を手前に引いて取外します。
※カバープレートが左側についているタイプはプレートを外します。

※標準的車両の例を示します。その他の車両については、車載の「取扱説明書」をご覧ください。

(2014年11月現在)

「けん引フック」取扱いの注意点

- ・けん引用ロープは、右図の範囲で使用します。
- ・けん引用ロープは、強度のあるものを使用し、外れないようにします。
- ・けん引用ロープやフックには、大きな力や急な力が加からないようにします。

